



発行所
三池炭鉱労組
大牟田市不知火町2
電話 33033番
33034番
集人 渡田 紀生
発行 年費600円 送料共

編集部からおねがい
組合員・家族の皆さん、私たちが
はまします重大な闘いをすすめて
います。このときこそ、大いに声
をあけましょう。本紙、とどろい
投稿・投書をお寄せ下さい。

カンパお礼
ガス突出災害のため、坊く仲間
十七人を資本の手で奪われた意志
内炭鉱労組のため、救済カンパを
組織内外に呼びかけたところ、十
三万九千八百八十六円が集まりま
した。さっそく同労組へ送るこ
に致します。ありがとうございます。

事実その後の推移は、会社側が
職員組合の機関紙、はばば、や
スコミを別用して、あらゆるデマ
を世間にふりまいては暴力とハカ
イの真犯人が警官隊だったとい
事実を覆いかくしながら、巧みに
三池労組に対する攻撃をつづけて
いるが、官浦指導部の新聞、すわ

りごみ、の第九号もついているよ
うに、「すべての責任が会社・警
察にある」と述べたままでもな
い。

たる十五日から東京で開催され、
別項記事にもあるように、非常に
切実なものとなっている期末手当
闘争方針(案)によれば八万八千円
要求、ととも、一九六九一七
別項記事にもあるように、非常に
切実なものとなっている期末手当
闘争方針(案)によれば八万八千円
要求、ととも、一九六九一七

〇年度運動方針」を確立すること
になっている。
とくに七〇年安保闘争の年を前
にしてのこの大会だけに、格
別重要な意義をもっている。

基本目標は「四項目」

会社は処分を撤回せよ

去月十九日に開かれ、審議を一時中断したあとも二十日再開された三池労組中央委員会では、①団体交渉を通じて会社側の責任を
追及し、解雇を撤回させ、坑内保安の確立を要求し闘いを続ける。②予想される追いつき弾圧をハネ返し、これ以上処分者をたさない
ために闘う。③不当弾圧反対の闘いと結合し、新たな問題が提起されたCO闘争を発展させる。④今後生命を守る反合理化闘争の基
本を生産点におき、現場における闘いを強める。四項目を基本目標とし、資本と国家権力が一体となつての弾圧をハネ返しなが
ら、闘いをすすめることを意思統一した。

機動隊暴力ふるう 70年安保バク口した弾圧

すでに本紙で詳報した通り
仲間の不当処分(二人解雇、一人
出勤停止、不当逮捕)の二一人に
湧き立つ怒りを抑え切れず、断
固隊長室に座りこんで闘う三池労
組員に対し、三井鉱山は去月十七
日不当にも、直接福岡県警の機動
隊を大挙出動させ、猛烈と座り
こんだ組合員をついに暴力をふる
せてこれを排除、大弾圧を加え
たのだ。

勝利の日を待つ

寄せられた暖い激励

資本と国家権力がぐるぐる
なつての弾圧にもめげず、あ
る便りや電報で暖い激励が寄
あへる生命を守る闘いをし
せられていぬ。

「全備揃って無罪釈放のた
め、しっかりと手を取り合っ
て頑張ってください。私達も
続きます。尚、裁判の勝利
の日を待っています。皆
さん方の健康と闘争の成
功を祈っております。」
うれしき言葉である。

大牟田市当局は市職労に対し、
かねてから指導上の責任を追
及するため、組合幹部を処分した
いとの意思をもっていることを明
らかにしていたが、去る二十日に
たり組合の反対を押し切って一方
的に処分を強行した。処分の内容
は次の通りである。

- 停職三月
- 停職二月
- 停職一月
- 減給
- 戒告

以上に見るに処分は二十
一人のほかに、対象者はすべて

市職労に処分の攻撃

組合運動ぶつつし狙う

大牟田市当局

このごの処分の口実として、市
当局が一番重視してきているもの
は「職場闘争」で、それを指導し
たのが許されぬこととしてい
る。

市職労は「このことがハッキリ
と、現場における組合運動を徹底
的に押しつぶすのがねらいで、三
池労組に加えられたごの弾圧
とまったく同じだ」とうけとり、
今後だからこそ「三池の五人組
組織にならぬ」との問題について
徹底的に現場討議を行ない、夏季
一時金闘争や欠員補充の闘いと組
たごのほは次の通りである。

高額妥結つづ
く夏季闘争

大牟田市職による現在闘われ
ている夏季闘争で、すでにかなり
には早くも支給にこぎつけたとこ
ろをさ出ている。

炭鉱労組の場合政策資金とは
いさ、年々の低額賃上げが積み重
なり、いまでは坑外労者の賃金
など、まさに生活保護家庭といっ
つかつた状態に追いこまれ、生
活は極めて苦しくなっているとき
だけに、夏季闘争はとりわけ炭鉱
労者にとって重大問題となつて
いる。

重要問題目近に 貫ぬこう三つのCO要求

政府(直接に
は労働省)はこ
れまでつづけて
きたCO中毒患
者に対する特別
リハビリテーシ
ョン(万田訓練
所で行なってい
たもの)を、六
月末日を期して
中止した。

だが三池労組の強い要求を無視
することができず、そのままのリ
ハビリテーションを、今後は会社
が武徳院にかえて実施していくこ
とになった。

このごの訓練に参加するのは五
十八の三池労組員のCO患者に、
き

会社によればすでに現場に配置さ
れている新労組員の患者も数名加
わることになる。

治療・訓練費ばかりでなく生活
補助もすべて会社負担となり「一応
は安心できたが、しかし傷害認定
(七級問題)の申請にもとづく査
定、時的経過観察中の患者の取
扱ひなど、重要課題が目前にひ
かえていることを思えば、改めて
「解雇反対」「完全治療」「生活
補償」の三要求を置く決意を固め
ることが必要となってきた。

十五日から
炭労大会

第五十八回炭労定期大会は、き

わかば以下を吸

港務 柿坂 敏

俺にも
吸わさす

あるオルグ
との交流の席
上であつた。

私の目の前の
吸ガラ入れに
まだ何層も吸ってないピースの吸
ガラが、オルグの手からポイと捨
てられた。この瞬間から私の心は
おかされようとする員の本能的よ
うに、固くとききだしてしまつた。

このオルグと交流しあつたことが、
なんだか大きいムダをしてるよ
うな悪感を感じ、語り合う意欲が
なななと消えていってしまった。
体中からスウィーンと消え去って
いった。

新生を指の間が熱くなるほどに
吸われれば、ピースを三分の
一しか吸わないこの人の間が、
なんだか遠い遠い、遠つた、われ
われと縁のない階級のように思え
てきて、いまの三池の苦悶、怒り
悲しみが、果てこの人と同じ階
級の肌ぬきもりとして理解して
もらえるのだろうか、とつたが
たからである。

こんな考え方ができない自分
の心の狭さ、心の乏しさを反省し
たり、たしなめたりして見たが、
鉛のように重く沈んで行く感情を
どうすることもできなかった。

そしてピース一本の吸ガラで、
労働者の連帯感を見失うほどおい
つめられた炭鉱労者の多岐よさを
悲しく思った。そんな中性的な
感情は、お前だけがもっている特
殊なものだと笑いとばして見せ
るものなら許したが……。

私はこんな苦い経験から、せむ
い致しおきます。

編者から
組合員・主婦
の皆さん、全国のCO患者の
皆さん、この欄にこころを込めて
下さる。思うことをスバリそのま
ま、発言するためのこの欄を活用
し、大いに苦言をい、忠告を、警告
を呈しませう。別に締め切りは
ありませんし、またどんな紙に書
いても構いません。

宛名は「三池労組」に編集
部としてください。もちろん
匿名自由です。

なおお前さんに、随筆として寄
稿されたものをこの欄に掲げせ
ていただいたことを、ご了解願
い致します。